

2022年 3月 9日

【緊急声明】

和歌山県民主医療機関連合会
会 長 佐藤 洋一

ロシアによるウクライナへの軍事侵略の即時中止を求めます

ウクライナ全土へのロシアによる軍事行動で、首都のキエフをはじめ、民間人に多数の犠牲が出ています。今回のロシアの行動が国連憲章と国際法に明確に違反する侵略行為であることは明らかです。

今回のロシアの行動は、「主権の尊重」「領土の保全」「武力行使の禁止」などを義務付けた国連憲章に違反することは間違いありません。

許しがたいのは、ロシアが核兵器を使用する姿勢を示していることです。これは、核兵器の先制使用も辞さないという最悪の威嚇です。実際に核戦力の「特別体制」を命じたことで、核戦争が現実のものとなりうる、まさに瀬戸際にいます。日本は77年前、広島と長崎に原爆が投下され、一瞬に都市は破壊され、その年末までに20万人以上の命が奪われました。いまもなお苦しむ被爆者の願いは核兵器の廃絶です。被爆国日本としても、このような核兵器による威嚇は絶対に許してはなりません。

この機に乗じて自民党や維新の会の一部の政治家から「核共有」の議論がおこっています。「非核三原則」を国是とする日本で核の共有を議論すること自体、許すわけにはいきません。核兵器の脅威をなくすただ一つの道は、核兵器廃絶にあります。「核共有」の議論をきっぱり退け、「核兵器禁止条約に日本は参加せよ」との声を広げていきましょう。

2度にわたる世界大戦で、多くの人命が失われた体験から「2度と戦争をしてはいけない」との痛切な願いによって生まれたのが国連憲章であり、憲法9条です。軍事力による「力の論理」を否定し、紛争の平和的な解決をめざしてきた戦後の国際秩序が、ロシアの侵略によって根底から脅かされています。

戦争で常に犠牲になるのは一般市民です。世界は今、新型コロナパンデミックに苦しんでおり、世界はパンデミックから人類と地球を守るために全力を挙げるべきときです。

唯一の被爆国である日本から、核兵器による恫喝は許せないとの声を広げましょう。世論と運動、たたかいが、平和をつくっていく力です。今、ロシア国内でも戦争に反対するデモが大規模に起こり、抗議の声が広がっています。世論と運動でプーチン政権を包囲していきましょう。

和歌山民医連は、怒りをもって糾弾し、ロシアはただちに侵略行為をやめること、ロシア軍はウクライナから撤退することを強く求めます。「ロシアは国連憲章を守れ」の声をどうかご一緒に上げていきましょう。

以上